

事業報告書

1. 事業の状況

(1) 概況

当財団は、「医薬品の開発をはじめとする生命科学に関する諸分野の研究を奨励し、もって国民の健康と福祉の向上に寄与する」ことを目的として1985年2月19日に厚生大臣の認可を受けて設立し、2010年1月19日に内閣総理大臣の認定を受けて同2月1日公益財団法人に移行した。

2020年度も、基本財産として保有する大正製薬ホールディングス株式会社株式の配当金を活用し、わが国の企業をベースとする財団としては最大規模の事業を行った。

(イ) 研究助成、海外留学助成を引続き高水準で実施した。

(ロ) 研究業績褒賞を行った。

(ハ) 第13回上原国際シンポジウム「Brain-periphery interactions in health and diseases」を開催する予定であったが、新型コロナウイルスの流行により2021年6月に延期した。そのため2020年度は組織委員会を開催しシンポジウムの準備を進めた。

(ニ) 第11回特定研究を開始した。

(ホ) 定例刊行物である「研究報告集Vol. 34 2020」、「一年のあゆみ2019年度版」および「2020年度上原賞受賞講演録」を作成した。

(2) 各種助成金

2020年3月11日開催の理事会で決定した事業計画に基づいて、同年5月25日の理事会（書面決議）で「交付対象者選出に必要な事項」を決定し、6月10日より募集を行った。

応募申請は、9月3日に締切り、各選考委員が書面審査の上、11月11日及び11月25日に選考委員会を開催して選考を行った。

この選考結果を12月14日開催の理事会・評議員会で検討して、交付対象者ならびに交付金額を決定し、直ちに応募者に通知した。

採択者に対する助成金の支払いを、2021年1月より開始した。

(イ) 第11回特定研究助成金

特定研究テーマ検討委委員会の答申を受け、2020年度事業計画に「AI・ビッグデータ駆動型生命科学」を助成対象とすることが盛り込まれた。公募の結果、

157件の応募があり、19名に初年度の2020年度分の助成金を交付した。

(1件当たりの助成金)

	2020年度	2021年度	2022年度	助成金合計
特定研究助成A 助成件数6件	千円 5,000	千円 5,000	千円 5,000	千円 15,000
同 B 助成件数13件	〃 3,000	〃 3,000	〃 3,000	〃 9,000

(ロ) 研究助成金 (1件5,000千円)

110件の助成を決定した。

(ハ) 研究推進特別奨励金 (1件4,000千円)

10件の助成を決定した。

(ニ) 研究奨励金 (若手研究者対象1件2,000千円)

120件の助成を決定した。

(ホ) 海外留学助成金

本年度も、リサーチフェローシップとポストドクトラルフェローシップの2種目とし、合わせて135件採択した。その内8件を2年間助成とした。

(ヘ) 来日研究生助成金

10件の助成を決定した。

(ト) 国際シンポジウム開催助成金 (1件1,000千円以内)

わが国で開催される国際研究集会に9件の助成を決定した。

(3) 研究業績褒賞 (上原賞)

生命科学に関する研究で顕著な功績をあげ、引続き活躍中の研究者を主要学会、当財団役員・評議員・諮問委員および上原賞受賞者に推薦をお願いした。15件の候補者のなかから2回の選考委員会での厳正、慎重な討議の結果、京都大学ウイルス・再生医科学研究所教授の影山龍一郎氏、慶應義塾大学医学部教授の吉村昭彦氏を受賞者に決定した。

(4) 刊行物の発行

(イ) 2018年度の研究助成金および同奨励金受領者等よりWeb入稿された研究経過報告書を取りまとめ、「上原記念生命科学財団研究報告集Vol. 34 2020」を刊行した。

- (ロ) 当財団の年報「2019年度上原記念生命科学財団一年のあゆみ」を作成した。
- (ハ) 「2020度上原賞受賞講演録」を作成し、助成金受領者に配付した。

(5) その他

海外で開催される国際研究集会に対する助成に関しては、該当案件がなかった。

助 成 金 の 内 訳

＜ 贈 呈 決 定 額 ＞

(金額単位：千円)

	助成金の名称	助成の対象者	1件当たりの助成金額	応募件数	助成件数	総助成額
定款第5条第1号 研究助成	第11回特定研究助成金	「AI・ビッグデータ駆動型生命科学」を行う研究者	(A) 15,000千円 (B) 9,000	157	6 13	} 207,000千円 [本年度 69,000]
	研究助成金	単独・共同研究等 いずれでも可、年齢不問	5,000	542	110	
	研究推進特別奨励金	2018年4月以降に 独立した研究室又は チームを立ち上げた 教授(1975年4月1日以 降出生の者)	4,000	36	10	40,000
	研究奨励金	1983年4月1日以降 出生の者、但し6年 制学部出身者は1981 年4月1日以降出生 の者	2,000	314	120	240,000
同条第3号 派遣及び 招聘の助成	海外留学助成金 リサーチフェローシップ	年齢基準等研究奨励 金と同じ、但し年収600 万円以下	4,500以内	208	83	303,100
	ポストドクトラル フェローシップ	1987年4月1日以降 出生の者、但し6年制 学部出身者は1985年 4月1日以降出生の者で 博士号取得直後の年収 250万円以下の者	同上	105	52	219,800
	来日研究生助成金	わが国の大学院博士 課程に入学するために 来日する研究者	奨学金月額 150	16	10	32,850 (支払は一部来期以降)
同条第4号 シンポジウムの助成	国際シンポジウム 開催助成金	わが国で開催される 国際研究集会	1,000以内	9	9	9,000

褒 賞 の 内 訳

	褒賞の名称	褒賞の対象	1件当たりの褒賞	被推薦件数	褒賞件数	副賞の総額
定款第5条第2号 研究業績褒賞	上原賞	顕著な功績をあげ 活躍中の研究者	正賞 金牌 副賞 30,000千円	15	2	60,000千円